

## ■ めざす学校像 「学び、交流し、発信する学校」

これまで目標としてきた「認め合い、仲間とつながり、未来をつくる学校」というスタンスに変わりはありません。日々の授業で「わかった」「できた」という感覚が少しでも多く感じられたり、学校行事や係・清掃などの諸活動で「自分の存在を認めてもらえている」「誰かのために役立っている」という安心感を得たりすることが“自己肯定感”、“自己有用感”につながり、精神的幸福度も学力も高まると言われています。



学校での学びの魅力として、「仲間とともに活動する事を通じて、さまざまな事を学ぶ」「保護者、教職員、地域が、協力しながら子どもの成長を温かく見守る」が挙げられます。

その学びについて、これまでと同じく「学習」、「交流」、「発信」の3つの柱を意識しながら、“主体的で対話的で深い学び”を実現していきます。

### ○ 学習

学ぶことに一所懸命チャレンジし（失敗を生かす、日々の生活を大切にして、成長する）

### ○ 交流

自分が考えたことを仲間と交流し（互いを温かく受け止め、影響し合うことで成長する）

### ○ 発信

自分の（または仲間との）考えや創作を発信（発表）していく

（発信することで情報を見極める力も向上させる）

（見守ってくれている人たちに、成長過程を伝える）

## ■ 学校スローガン 「学びの感動体験 <sup>ここ</sup>東中に有り」

東中学校の生徒たちは、主体的に学び、交流し、発信していきます

東中学校の先生たちは、生徒たちがよりよく伸びるために工夫していきます

そこで生まれる“学びの感動体験”の一つ一つは、東中学校の魅力です

## ■ めざす子ども像 「3つの『間』<sup>ま</sup>を大切にできる人」

1. **時間** … みんなと共に過ごす時間を、有効に使おう  
時間を意識して行動できるようになろう
2. **空間** … どの生徒も安心して生活できる空間を作ろう  
教室を美しくしよう。不愉快な言葉が飛び交う雰囲気はなくそう
3. **仲間** … 一人ひとりの人権を尊重しよう  
共に喜びを分かち合い、苦難を乗り越えられる友情の絆を育もう

## ■ 教員の心構え 「子ども主体の学びを支援する伴走者」

- すべてを教えるのではなく、「生徒に問いかける」「生徒が考える」場面を創り出し、「できるようになった」「分かった」を実感させる指導を実践していく

【東中学校区 めざす子ども像】  
心豊かにつながる子 自ら進んで学び合い 夢に向かってたくましく生きる子

【東中学校 めざす学校像】

学び、交流し、発信する学校

【東中学校 スローガン】

学びの感動体験 **ここ** 東中にあり

めざす子ども像

3つの「間」を大切にできる人

時間 みんなと共に過ごす時間を有効に使おう

空間 誰もが安心して生活できる空間を作ろう

仲間 一人ひとりの人権を尊重しよう

授業改善 及び 生きる力の育成 の重点

●「学び、交流し、発信する学校」の教育活動

- ・ 「学習」、「交流」、「発信」の3つの柱を意識した教育活動を図り、「主体的で対話的で深い学び」を実現
- ・ 「令和の日本型学校教育」に示された『個別最適な学び』と『協働的な学び』を一体的に充実
  - ① 基礎的・基本的な知識や技術の確実な定着を図る
  - ② 支援教育の視点を取り入れた“わかる授業づくり”の実施
  - ③ ICT を効果的に活用し、学力(情報活用能力を含む)を向上

●豊かな人間性の育成 及び 体力向上

- ・ 全教員が指導案を作成し、授業を行うことで道徳教育を充実
- ・ “本物との出会い”をキーワードに、当事者から学ぶ機会を創出し、キャリア教育と人権教育を充実
- ・ 全学年での体力・運動能力テストの実施

●小中一貫教育の充実

- ・ 乗り入れ授業を通じ、知識や技術の取得だけでなく授業での生徒指導の共通認識を図る
- ・ 「中学への架け橋」を活用した学習の段差解消
- ・ 児童生徒理解と不登校をなくすための小中生指 導 連 絡 会 の 関 係

- 学習 学びに対して一所懸命チャレンジし  
(失敗から学び、日々の生活を大切に、成長する)
- 交流 自分が考えたことを仲間と交流し  
(互いを温かく受け止め、影響し合い成長する)
- 発信 自分の(または仲間との)考えや創作を  
発信(発表)していく  
(発信することで情報を見極める力も向上させる)  
(見守ってくれている人たちに、成長過程を伝える)

■本校の課題

- 基礎学力の定着と授業規律の確立
  - ・ チャレンジテストの結果は、学年によって差が大きく、メリハリをつけて授業に臨む姿勢の指導を徹底する
- 自己有用感、自己肯定感のさらなる向上
  - ・ 「わたしは、クラスの人の役に立っている」の肯定的回答 44.0%、曖昧が 35.5%、否定的回答が 20.5%
  - ・ 「わたしは他の学年の人の役に立っている」の肯定的回答が 29.7%、曖昧が 39.6%、否定的回答が 30.7%である。《2026年3月 こころのアンケート結果より》

組織改善 及び 教員育成 の重点

- ・ 生徒だけでなく教員も「3つの『間』を大切にできる人」になり、会議の効率化や職員室空間の快適化、仲間意識の醸成に励む
- ・ 安心して悩みを相談できる教職員集団づくり

●機動力のある組織運営

- ・ 「確かな学び実践校」として、基礎基本の定着と主体的対話的で深い学びや探求的な学習をバランスよくすすめる
- ・ 2大行事(体育大会と合唱コンクール)のプロジェクト委員会を中心に、教育効果と教員や生徒の負担に配慮した運営をめざす
- ・ いじめ不登校対策委員会、支援教育委員会を SC 等と連携しながら定期開催し、個々のケースに応じた生徒支援体制を整備する

●生徒会活動の活性化

- ・ 本部や各委員会が分業・協業を行い校内の学習・生活環境を整えるための活動を行う
- ・ 2年生の夏休みにリーダー研修会を設け、リーダーを育成する

●学校教育自己診断等の評価を生かした組織の点検

- ・ 参観日の「学校アンケート」や学校教育自己診断等を実施・分析し、PDCA サイクルを確立

●教員の業務量管理

- ・ 教育職員の年休の取得日数平均を15日とする。

地域に果たす 学校の役割

●「学びの場」、「交流の場」、「発信の場」

学校が基盤となることで地域コミュニティが活性化し、そこに集う人々の相互依存関係が豊かな人間関係を育み、生徒の自己有用感高揚や将来の夢、希望に好影響を与える

- ・ 「学びの場」・・・授業参観、PTA 研修など
- ・ 「交流の場」(体験の場)・・・学校支援ボランティア、地域の諸団体の活動
- ・ 「発信の場」(創造の場)・・・学校だより、学級だより、学校ホームページ
- ・ 学校運営協議会の活性化

学びの感動体験  
東中に有り



東中学校区小中一貫教育の推進

市の理念 『誰一人取り残さない「こどもまんなか教育」の実現』

『つながりアップ事業』～小中・地域連携の強化ではぐくむ東中校区の子どもたち～

<児童生徒の実態>

- ・行事などに積極的に取り組む児童生徒が多い。
- ・学習に対しての意欲の格差が大きい傾向にある。
- ・他者との違いを認め、いじめ・差別をしない、許さない意識を高めていく必要がある。

<保護者・地域の願い>

- ・現在を見つめ、未来を創造する心身ともに健康で、心豊かなたくましい人間に育てほしい。
- ・素直で明るい人に。

<市の重点施策>

- 1. 確かな学力の定着と学びの深化**
  - 重点1. 学習指導要領の確実な実施
  - 重点2. 学力向上の取組みの充実
  - 重点3. 確かな学力をはぐくみ感性を豊かにする読書活動の充実
  - 重点4. 伝統・文化や英語教育などの特色ある教育の推進
  - 重点5. 一人ひとりの教育的ニーズに対応した指導・支援の充実
  - 重点6. 「ともに学び、ともに育つ」教育のさらなる推進
- 2. 豊かな心と健やかな体の育成**
  - 重点7. 人権・多様性を尊重する教育及び心をはぐくむ教育の充実
  - 重点8. 不登校、ヤングケアラーやいじめ、暴力行為等の取組みの推進
  - 重点9. 子どもたちの生命・身体を守る体制づくり
  - 重点10. 体力づくりの推進と体育活動中の事故防止等の取組み
  - 重点11. 健康教育の充実
  - 重点12. 子どもの自主性を尊重した部活動の取組み
- 3. 将来を見据えた自主性・自立性の育成**
  - 重点13. 自主性・自立性を育成するキャリア教育・進路指導の推進
  - 重点14. 社会とつながる学習活動の推進
- 4. 多様な主体との協働**
  - 重点15. 子どもたちの安全・安心を支えるための多職種連携
  - 重点16. 教育コミュニティづくりの推進
- 5. 力と熱意を備えた教員と学校組織づくり**
  - 重点17. 働き方改革
  - 重点18. 教職員の資質・能力の向上
  - 重点19. 学校の組織力の向上
  - 重点20. 不祥事の防止
  - 重点21. 体罰・セクシャル・ハラスメント防止の取組み
  - 重点22. 職場におけるハラスメントの防止
  - 重点23. 「指導が不適切である」教員への対応
- 6. 学びを支える環境整備**
  - 重点24. 自然災害等に備えた安全・安心な教育

●めざす子ども像  
『心豊かにつながる子  
自ら進んで学び合い  
夢に向かってたくましく生きる子』

★取組の重点  
「気持ちをつなぐ」

●スローガン  
『 中学3年生の卒業の姿に  
みんなで責任をもとう! 』

- ★めざす子ども像の共有の深化
- ★生徒指導連絡会議
  - ・いじめ防止及び不登校生減少に向けての取組み
  - ・気持ちを伝える取組み
- ★学力向上の取組み
  - ・総合的な学習の時間の充実(9年間の一貫した探求型学習の視点に立った取組み)
    - 総合的な学習の時間研究授業【天見小】
    - 縦割り総合で、自分の「好き」を探究【天見小】
  - ・ICT活用の推進
    - 情報活用能力をはぐくむモデル校【天見小】
  - ・主体的・対話的で深い学びの研究授業の取組み
    - 【各校で実施】
    - ※「確かな学びをはぐくむ学校づくり推進校」【東中】
    - ・乗り入れ授業(中→小:体育、算数、生徒指導等)
- ★心を育てる取組み
  - ・人権教育研究授業【東中】
  - ・「ふるさと学」(小5～中1)
- ★合同行事

「学ぶ」から「学び合う」学習へ、そして「伝え合う」～言語活動の充実～



保護者・地域

教育委員会

改善

